

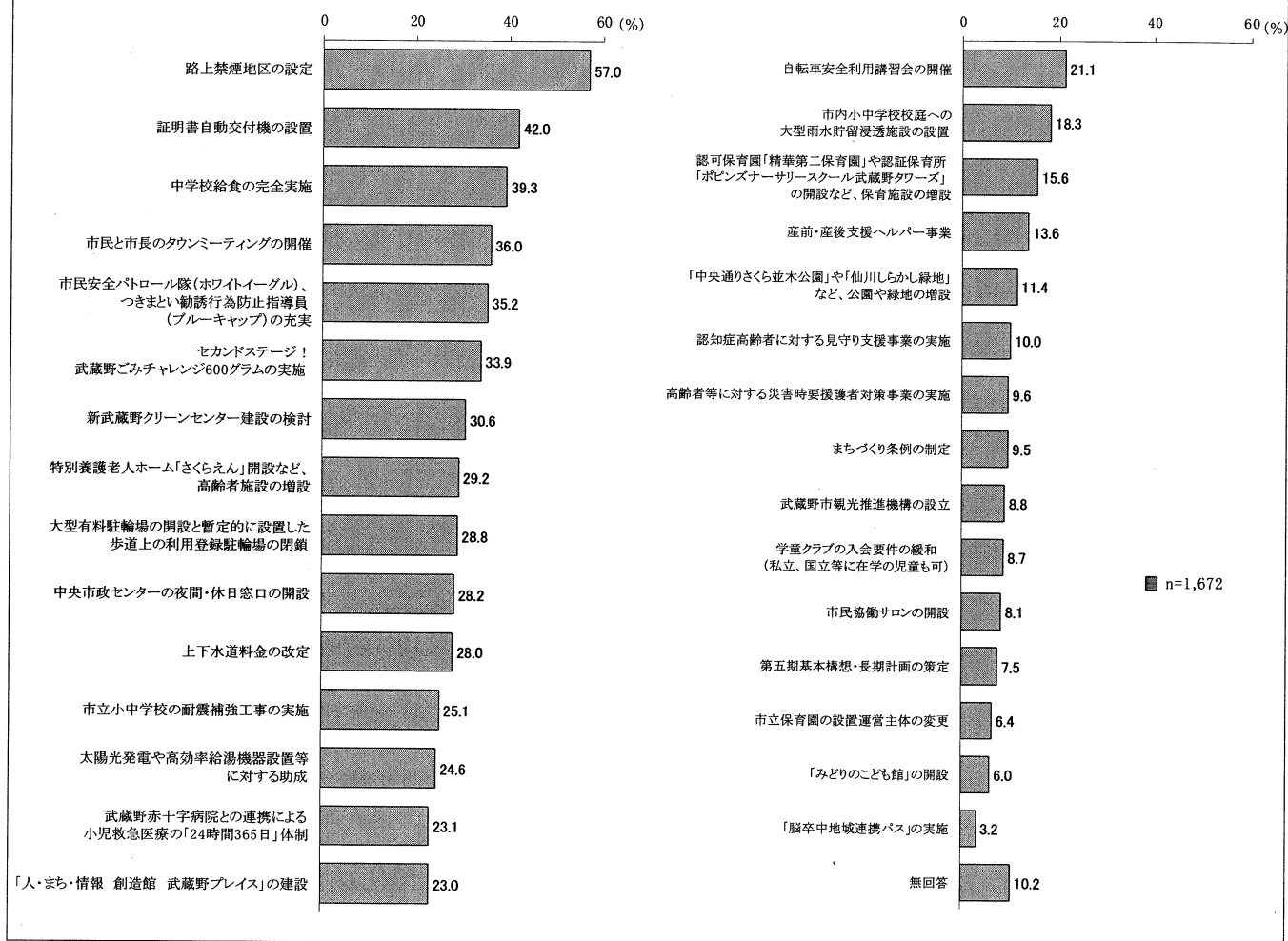
2 市政に関する情報提供などについて

2-1 市の事業の認知度

◎ 「路上禁煙地区の設定」、「証明書自動交付機の設置」が上位項目となっている。

問8 あなたは、武蔵野市が行っている次の事業を知っていますか。(○はいくつでも)

図表2-1 市の事業の認知度(複数回答)



市の事業30項目の認知度としては、「路上禁煙地区の設定」が5割台後半と最も高くなっている。次いで「証明書自動交付機の設置」が4割台前半、「中学校給食の完全実施」、「市民と市長のタウンミーティングの開催」、「市民安全パトロール隊(ホワイトイーグル)、つきまとい勧誘行為防止指導員(ブルーキャップ)の充実」が3割台で続いている。(図表2-1)

図表2-2 市の事業の認知度 (性別・年代別) 上位11項目

		調査数 (n)	路上禁煙地区の設定	証明書自動交付機の設置	中学校給食の完全実施	市民と市長のタウンミーティングの開催	市民安全パトロール隊(ホワイトイーグル)、つきまとい勧誘行為防止指導員(ブルーキャップ)の充実	セカンドステージ!武蔵野ごみチャレンジ600グラムの実施	新武蔵野クリーンセンター建設の検討	特別養護老人ホーム「さくらえん」開設など、高齢者施設の増設	大型有料駐輪場の開設と暫定的に設置した歩道上の利用登録駐輪場の閉鎖	中央市政センターの夜間・休日窓口の開設	上下水道料金の改定
全体		1,672	57.0	42.0	39.3	36.0	35.2	33.9	30.6	29.2	28.8	28.2	28.0
性別	男性	649	61.2	38.4	34.1	30.5	30.2	24.0	30.4	23.7	30.0	22.7	25.0
	女性	983	54.3	45.0	42.9	39.8	38.6	40.8	31.3	33.1	28.6	32.2	29.9
年代別	20歳~29歳	173	44.5	29.5	19.1	12.7	20.8	18.5	10.4	16.2	17.9	16.8	14.5
	30歳~39歳	279	55.2	45.9	40.5	29.7	29.0	38.4	24.4	18.3	29.7	31.5	26.9
	40歳~49歳	289	58.8	55.0	51.6	41.9	38.8	36.7	32.9	26.6	32.9	29.8	27.0
	50歳~59歳	244	66.0	50.0	44.7	38.1	42.6	31.6	31.1	28.7	40.6	34.0	29.1
	60歳~69歳	283	63.3	42.8	43.1	43.1	40.3	39.6	42.8	41.3	31.1	31.1	32.2
	70歳~79歳	235	58.7	37.9	36.2	48.1	40.9	39.6	36.6	38.3	27.2	27.7	34.5
	80歳以上	149	41.6	18.8	24.8	28.9	26.8	24.2	30.9	36.2	12.8	18.8	28.2

市の事業30項目について、認知度の高い11項目を各属性性別に分析した。

性別に見ると、「路上禁煙地区の設定」および「大型有料駐輪場の開設と暫定的に設置した歩道上の利用登録駐輪場の閉鎖」を除いたすべての項目で男性よりも女性の方が多く、特に「セカンドステージ!武蔵野ごみチャレンジ600グラムの実施」では10ポイント以上の差となっている。

年代別に見ると、「路上禁煙地区の設定」では50歳~59歳が6割台半ば、「証明書自動交付機の設置」で40歳~49歳、50歳~59歳、「中学校給食の完全実施」では40歳~49歳が5割以上と高い割合を示している。(図表2-2)

図表2-3 市の事業の認知度
(子どもの就学状況・介護が必要な同居家族の有無別) 上位11項目

		調査数 (n)	路上禁煙地区の設定	証明書自動交付機の設置	中学校給食の完全実施	市民と市長のタウンミーティングの開催	市民安全パトロール隊(ホワイトイーグル)「つきまとい」勧誘行為防止指導員(ブルーキヤップ)の充実	セカンドステージ!武蔵野ごみチャレンジプログラムの実施	新武蔵野クリーンセンター建設の検討	特別養護老人ホーム「さくらえん」開設など、高齢者施設の増設	大型有料駐車場の開設と暫定的に設置した歩道上の利用登録駐車場の閉鎖	中央市政センターの夜間・休日窓口の開設	上下水道料金の改定
全 体		1,672	57.0	42.0	39.3	36.0	35.2	33.9	30.6	29.2	28.8	28.2	28.0
就学状況別 子どもの	小学校入学前	159	54.7	58.5	53.5	42.8	40.3	40.3	31.4	27.7	29.6	37.1	32.1
	小学生	152	60.5	53.9	77.6	50.7	53.3	40.1	38.8	29.6	36.8	29.6	27.6
	中学生	83	63.9	54.2	84.3	48.2	51.8	31.3	33.7	30.1	42.2	22.9	28.9
	高校生および高校生相当年齢	137	56.9	46.7	65.0	46.0	43.1	33.6	34.3	23.4	40.9	19.7	24.8
介護が必要な同居家族の有無別	いる	215	59.1	41.4	42.3	39.1	39.5	34.4	33.0	35.8	31.6	25.1	26.5
	いない	1,282	57.8	43.9	40.8	36.3	35.5	31.1	24.4	28.3	30.3	28.4	28.5

子どもの就学状況別に見ると、全体では3位の「中学校給食の完全実施」について、中学生では8割台半ば、小学生でも7割台後半と非常に高い割合を示している。その他の項目では、「路上禁煙地区の設定」において中学生および小学生で6割台、「証明書自動交付機の設置」において小学校入学前が5割台後半と、高い割合を示している。

介護が必要な同居家族の有無別に見ると、いると回答した家庭は「特別養護老人ホーム『さくらえん』開設など、高齢者施設の増設」について、いないと回答した家庭と比べて7.5ポイント高くなっている。(図表2-3)

図表2-4 市の事業の認知度
(居住地域別・市報からの市政情報入手別・インターネットの利用状況別) 上位11項目

		調査数 (n)	路上禁煙地区の設定	証明書自動交付機の設置	中学校給食の完全実施	市民と市長のタウンミーティングの開催	市民安全パトロール隊(ホワイトイグル)・つきまとい勧誘行為防止指導員(ブルーキャップ)の充実	セカンドステージ!武蔵野ごみチャレンジプログラムの実施	新武蔵野クリーンセンター建設の検討	特別養護老人ホーム「さくらえん」開設など、高齢者施設の増設	大型有料駐輪場の開設と暫定的に設置した歩道上の利用登録駐輪場の閉鎖	中央市政センターの夜間・休日窓口の開設	上下水道料金の改定
全 体		1,672	57.0	42.0	39.3	36.0	35.2	33.9	30.6	29.2	28.8	28.2	28.0
居住地域別	吉祥寺地域	690	57.5	40.1	35.8	36.1	35.1	30.7	25.5	22.0	31.4	22.6	25.4
	中央地域	438	56.4	44.3	41.1	37.9	38.6	37.0	40.4	29.7	38.6	35.8	31.3
	武蔵境地域	520	56.7	43.7	42.3	34.6	32.7	36.0	30.0	39.0	17.7	29.2	28.7
市報からの市政情報入手別	市報から得ている	1441	60.0	45.5	44.1	41.1	38.8	37.8	35.0	32.6	31.5	31.1	31.2
	市報から得ていない	208	42.3	21.6	9.1	4.3	13.9	10.1	3.4	8.7	12.5	11.5	8.2
インターネットの利用状況別	利用している	1105	59.6	47.7	40.8	36.1	34.1	34.5	29.6	25.8	32.1	30.0	25.1
	利用していない	521	53.7	32.1	37.4	37.2	39.0	34.2	34.0	37.6	23.4	26.1	34.9

居住地域別に見ると、「路上禁煙地区の設定」では、各地域ともに5割台後半と高い割合を示している。その他の項目については、「新武蔵野クリーンセンター建設の検討」では吉祥寺地域が、「大型有料駐輪場の開設と暫定的に設置した歩道上の利用登録駐輪場の閉鎖」では武蔵境地域が、他の地域に比べて低い割合となっている。

市報からの市政情報入手別で見ると、すべての項目で市報から得ていない人よりも得ている人の方が多くなっている。中でも「中学校給食の完全実施」、「市民と市長のタウンミーティングの開催」、「新武蔵野クリーンセンター建設の検討」では市報から得ている場合が市報から得ていない場合より30ポイント以上高くなっており、市の事業の認知状況は市報の活用状況により大きく異なることが分かる。

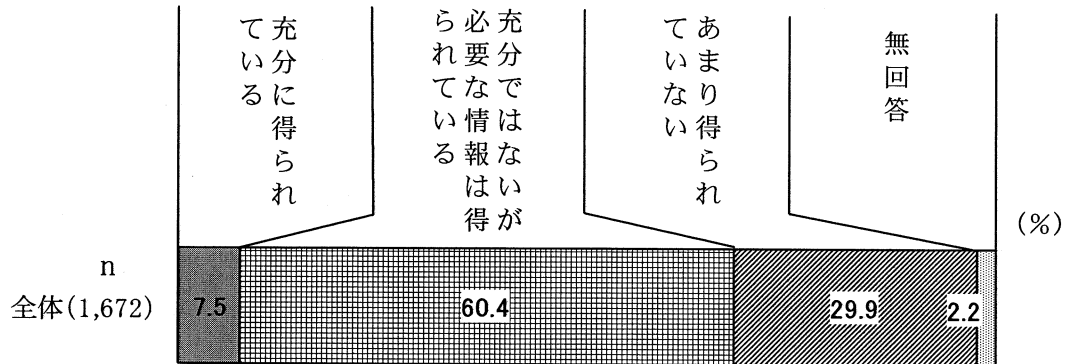
インターネットの利用状況別に見ると、「証明書自動交付機の設置」では、利用している人が利用していない人に比べて15ポイント以上高くなっている。一方で「上下水道料金の改定」と「特別養護老人ホーム『さくらえん』開設など、高齢者施設の増設」では利用していない人のほうが利用している人よりも10ポイント前後高くなっている。(図表2-4)

2-2 市の情報の入手状況

- ◎ 「充分ではないが必要な情報は得られている」が6割台半ば近く、「あまり得られていない」が3割近く。

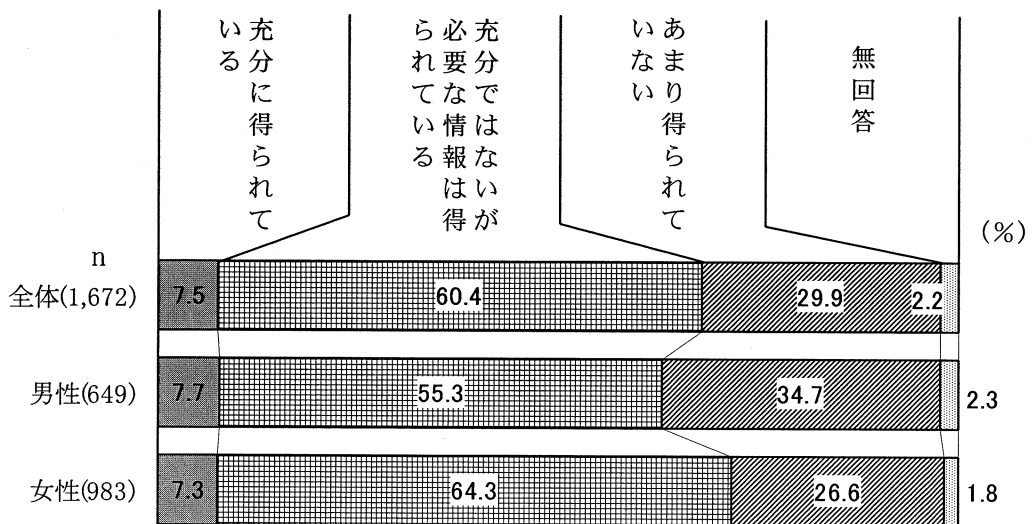
問9 あなたは現在、武蔵野市の情報を十分に得られていると思いますか。(○は1つ)

図表2-5 市の情報の入手状況



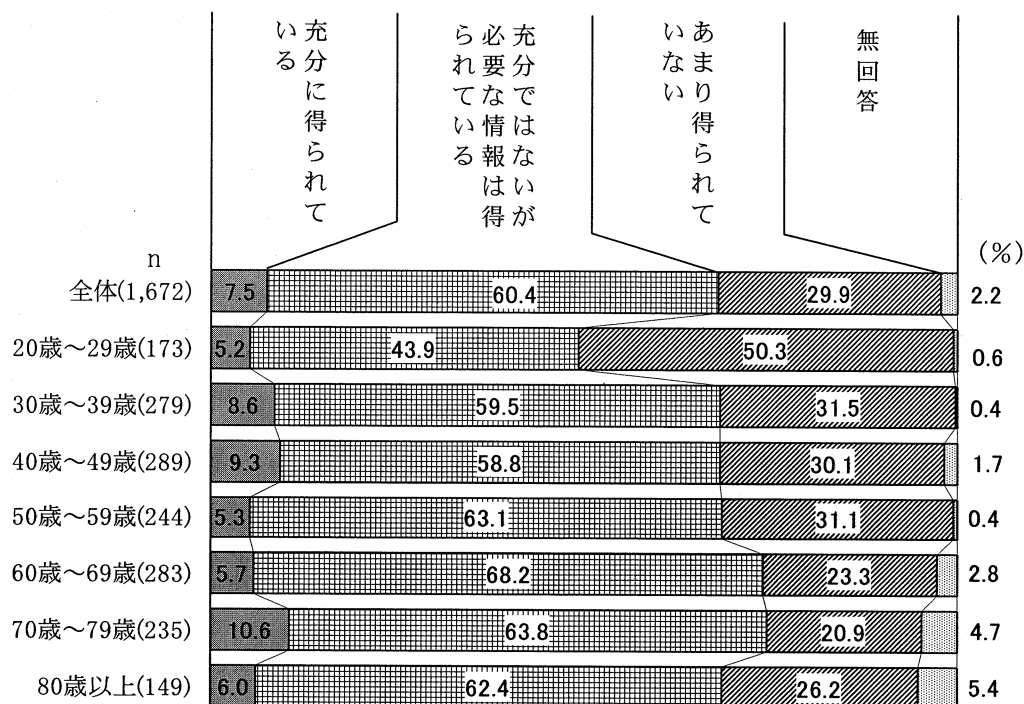
市の情報の入手状況としては、「充分ではないが必要な情報は得られている」が約6割台と最も高い。次いで「あまり得られていない」約3割となっている。(図表2-5)

図表2-6 市の情報の入手状況 (性別)



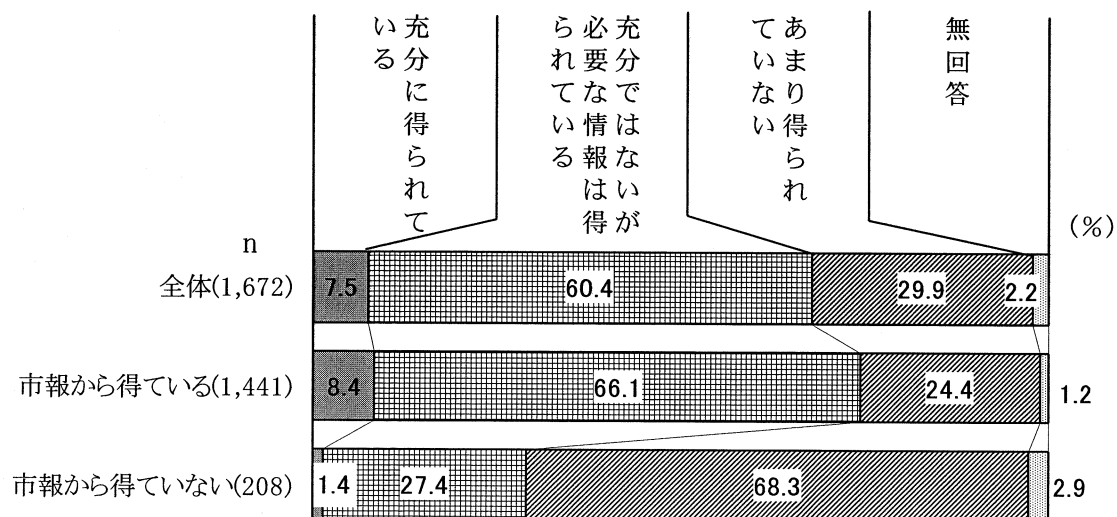
性別で見ると、「充分ではないが必要な情報は得られている」では、女性の方が男性よりも9.0ポイント多くなっている。一方「あまり得られていない」では、男性の方が女性よりも8.1ポイント高くなっている。(図表2-6)

図表2-7 市の情報の入手状況 (年代別)



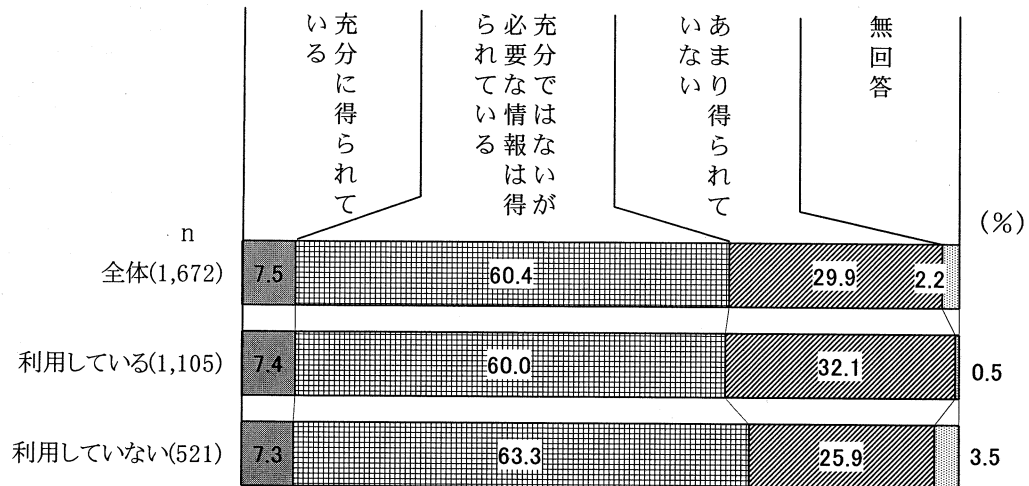
年代別で見ると、「充分ではないが必要な情報は得られている」では、60歳～69歳で6割台後半で最も高くなっている。「あまり得られていない」では、20歳～29歳で約5割と最も高い。(図表2-7)

図表2-8 市の情報の入手状況 (市報からの市政情報入手別)



市報からの市政情報入手別で見ると、「充分ではないが必要な情報は得られている」では、市報から得ている人で6割台半ばとなっているのに対して、市報から得ていない人で3割弱と大きく差が出ている。また「あまり得られていない」では、市報から得ていない人で7割近くと多い。(図表2-8)

図表 2-9 市の情報の入手状況 (インターネットの利用状況別)



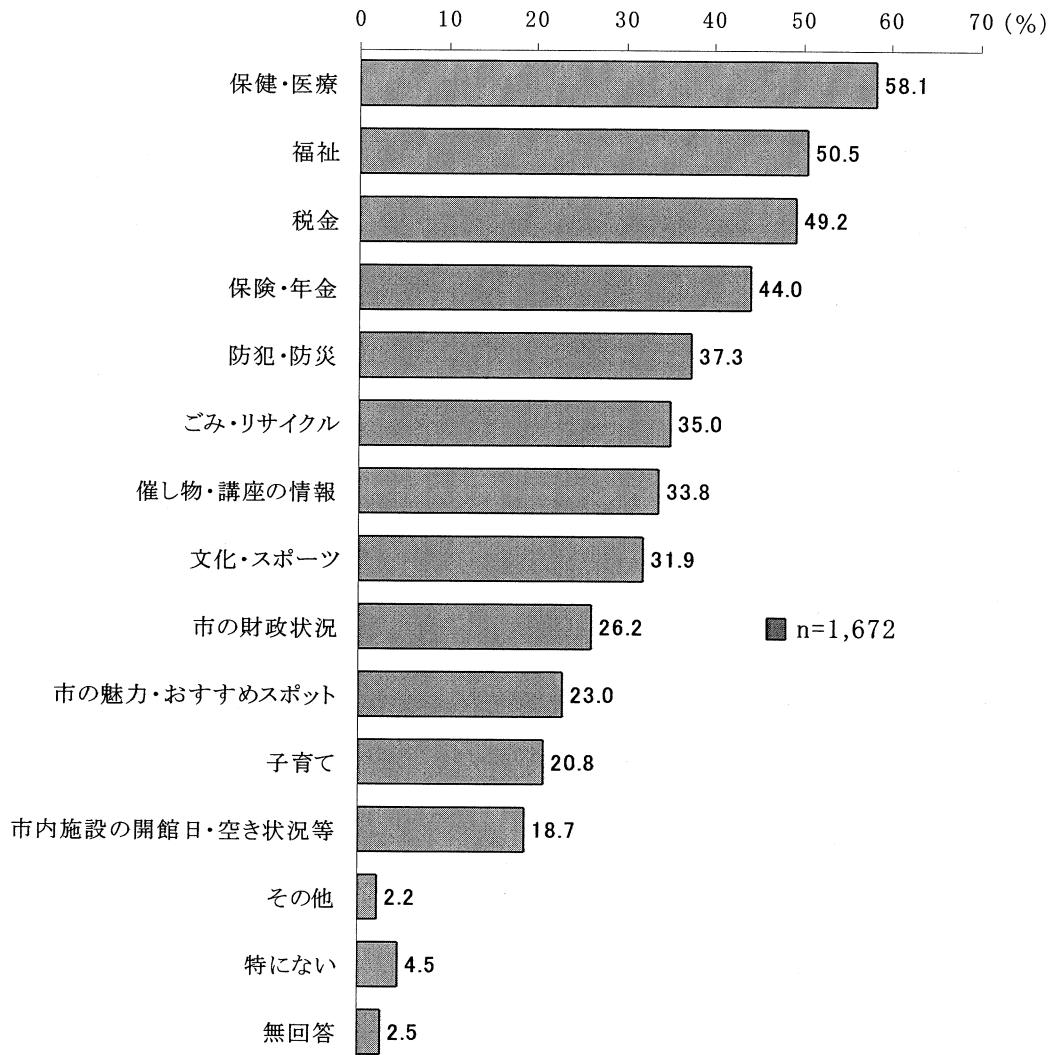
インターネットの利用状況別に見ると、「充分ではないが必要な情報は得られている」では、利用していない人のほうが利用している人よりも多いが、特に大きな違いは見られない。(図表 2-9)

2-3 知りたい行政情報

◎ 「保健・医療」が5割台半ばで最も多い。

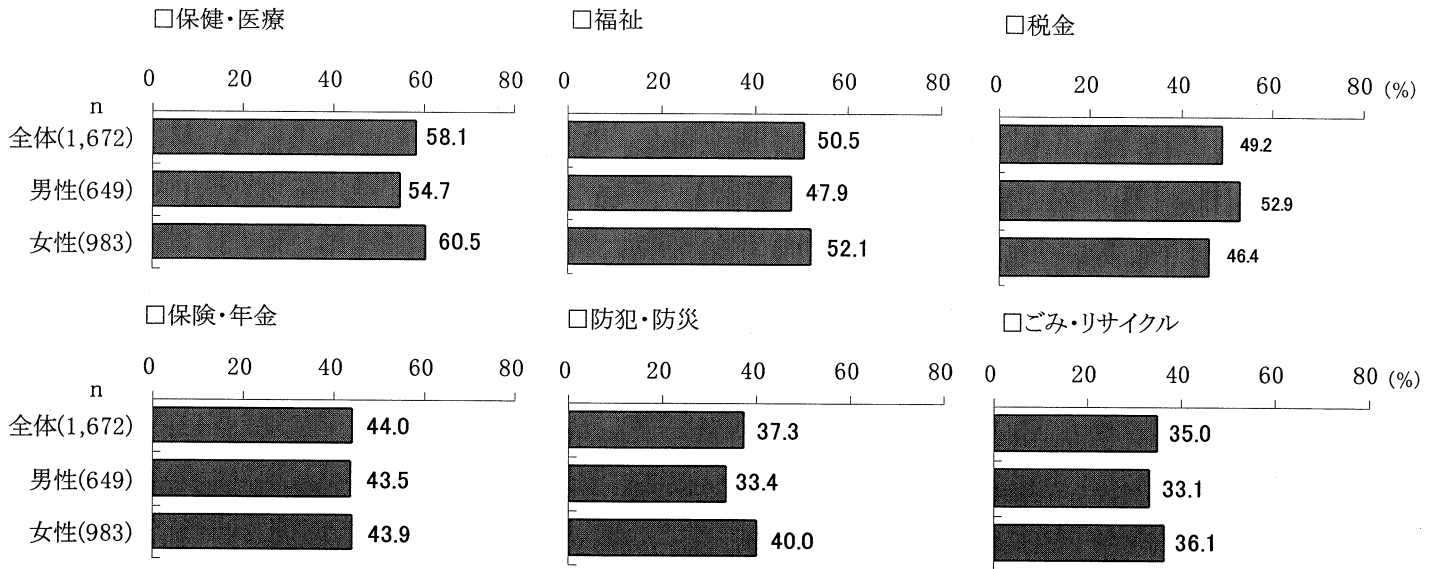
問10 あなたは、市政に関するどのような情報を知りたいと思いますか（○はいくつでも）

図表2-10 知りたい行政情報（複数回答）



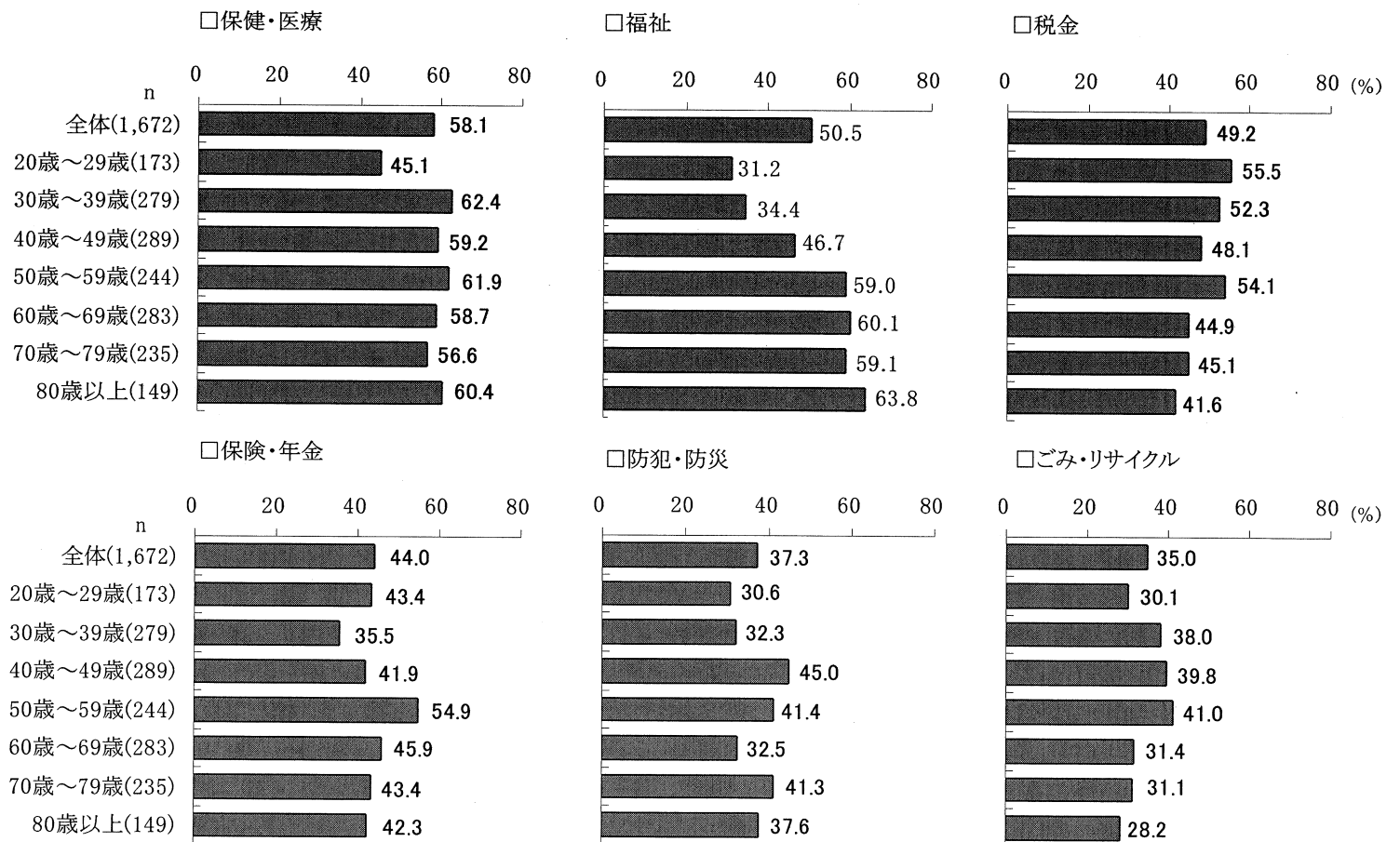
知りたい行政情報としては、「保健・医療」が6割弱と最も多く、「福祉」、「税金」が約5割と続いている。（図表2-10）

図表 2-11 知りたい行政情報 (性別) 上位 6 項目



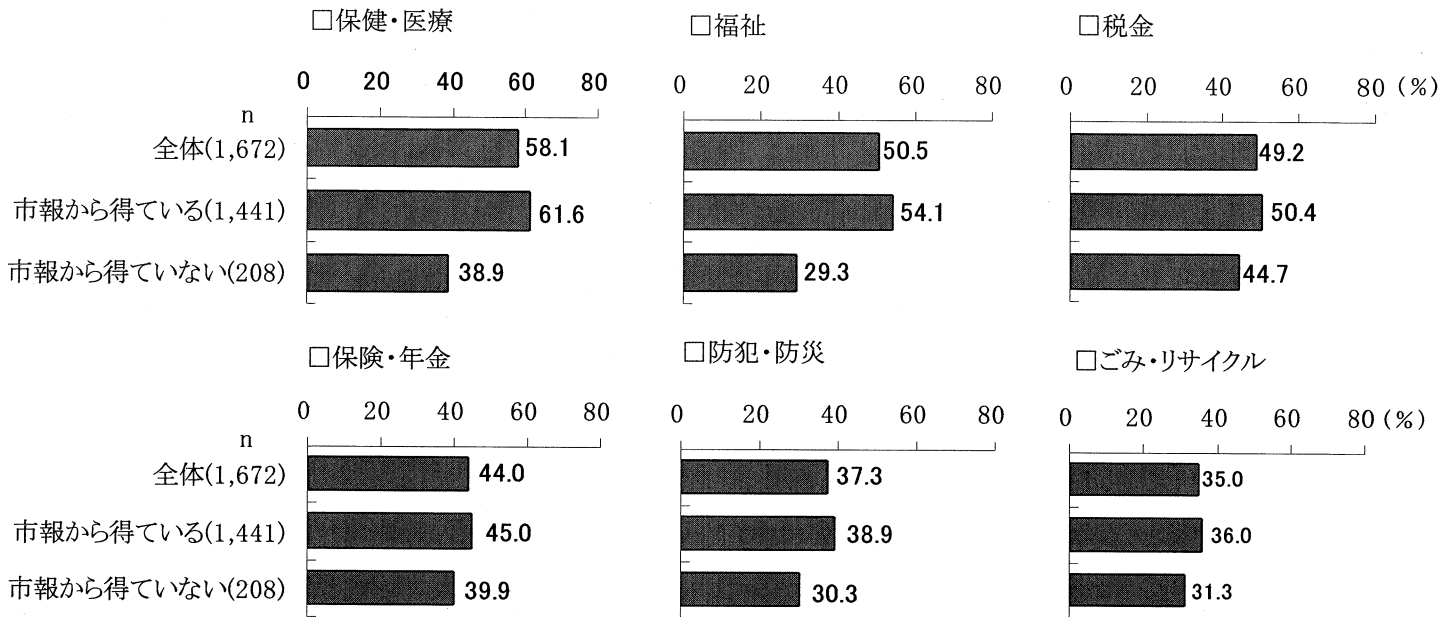
上位 6 項目について性別で見ると、「税金」を除くすべての項目で女性の方が男性よりも高い割合を示しており、「防犯・防災」では6.6ポイント、「保健・医療」では5.8ポイント男性を上回っている。一方男性は「税金」において6.5ポイント女性を上回っている。(図表 2-11)

図表 2-12 知りたい行政情報 (年代別) 上位 6 項目



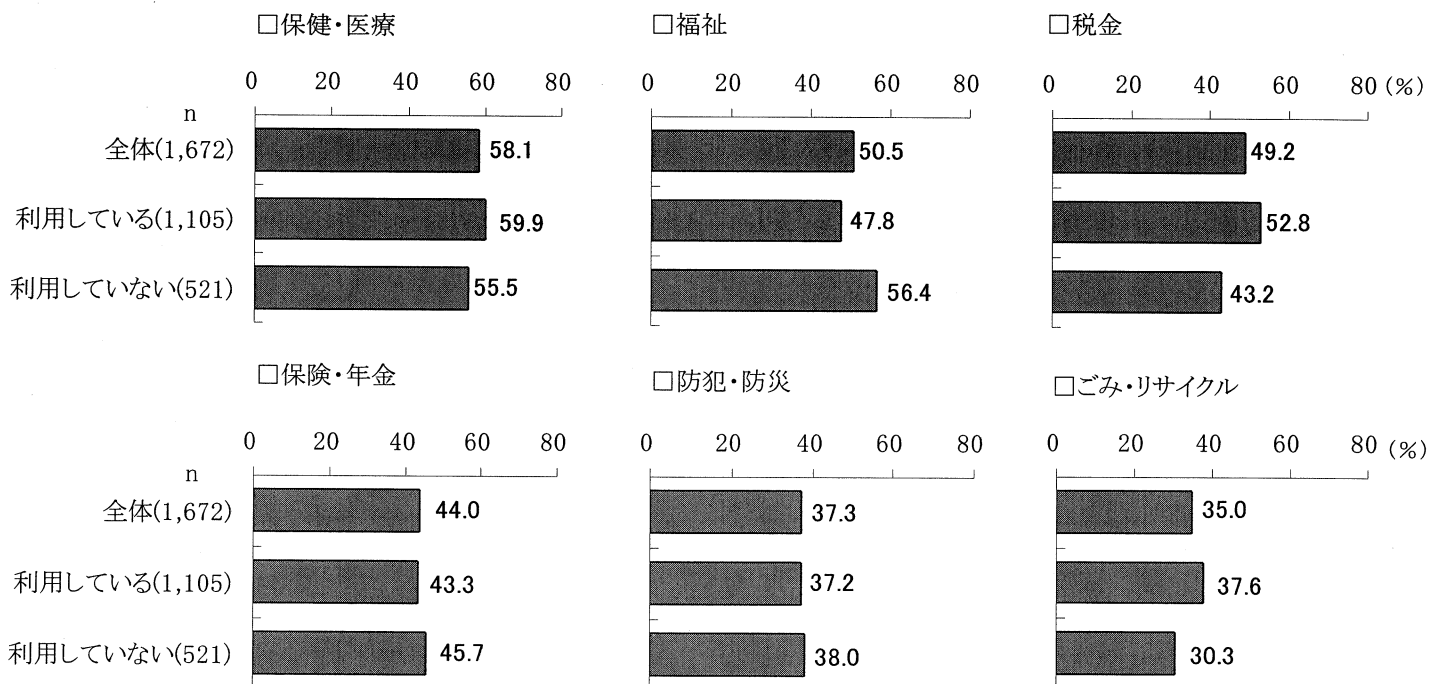
年代別で見ると、「保健・医療」では、30歳～39歳および50歳～59歳、80歳以上で6割強の高い割合を示している。「福祉」では、年代が高くなるにつれて高くなる傾向があり、特に50歳以上では約6割になっている。また、「保険・年金」でも50歳～59歳で5割強の高い割合を示している。(図表2-12)

図表2-13 知りたい行政情報 (市報からの市政情報入手別) 上位6項目



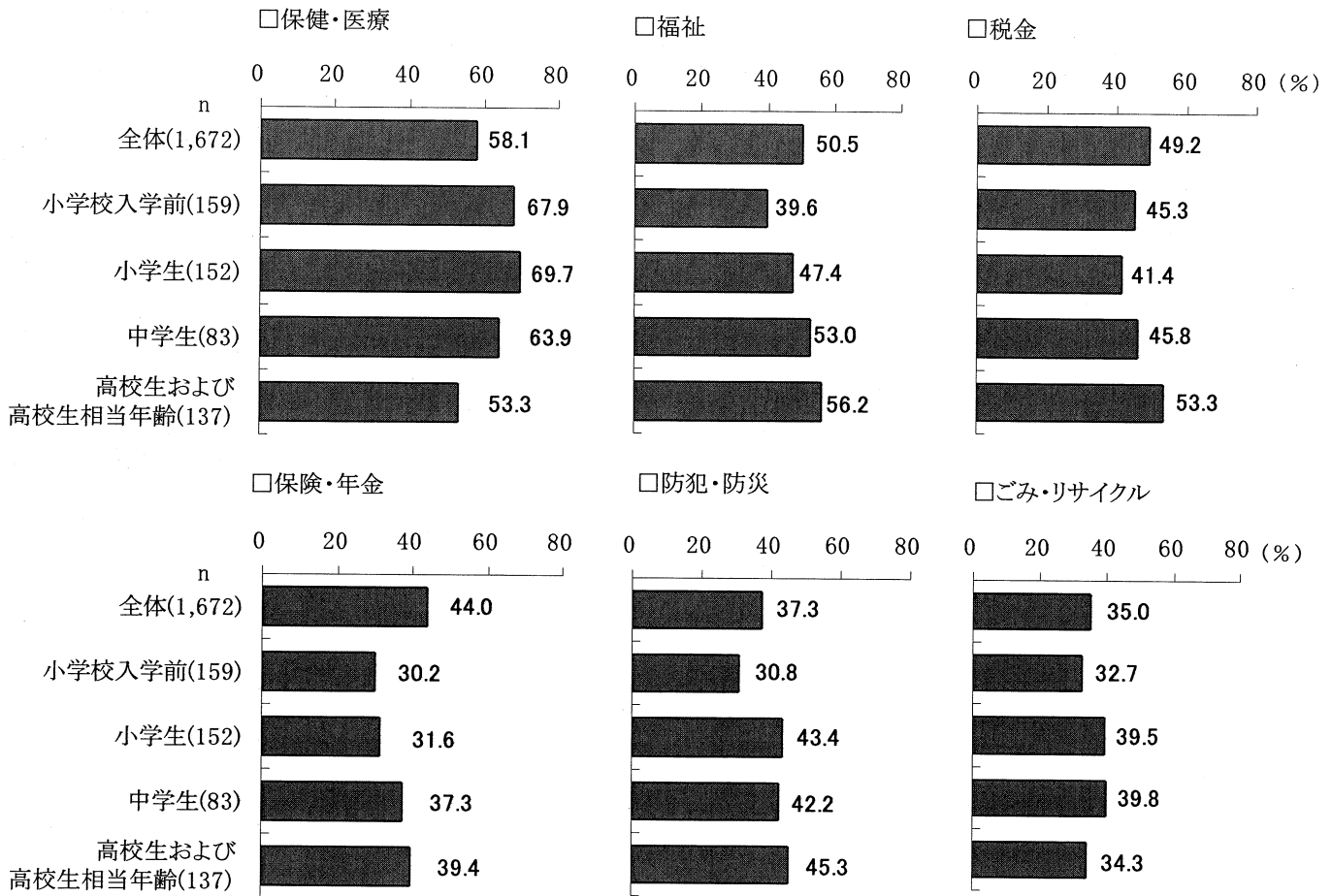
市報からの市政情報入手別で見ると、すべての項目で市報から得ていない人よりも得ている人の方が多く、特に「保健・医療」、「福祉」では20ポイント以上の差となっている。(図表2-13)

図表2-14 知りたい行政情報 (インターネットの利用状況別) 上位6項目



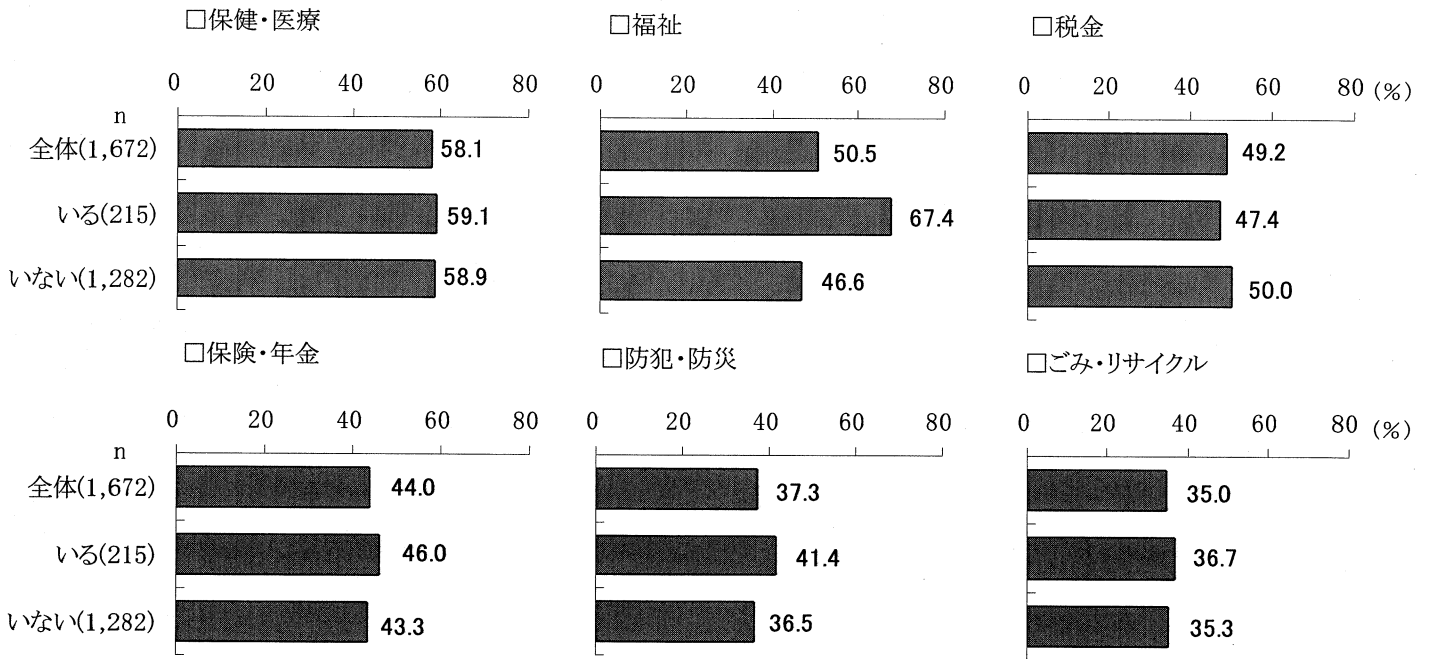
インターネットの利用状況別に見ると、「保健・医療」、「税金」、「ごみ・リサイクル」では利用している人のほうが利用していない人に比べて割合が高いが、「福祉」、「保険・年金」、「防犯・防災」では利用していない人のほうが割合が高い結果となっている。(図表2-14)

図表2-15 知りたい行政情報 (子どもの就学状況別) 上位6項目



子どもの就学状況別に見ると、「保険・医療」および「ごみ・リサイクル」は小学生が高い割合を示している。「福祉」、「税金」、「保険・年金」、「防犯・防災」は、高校生および高校生相当年齢が最も高くなっている。(図表2-15)

図表2-16 知りたい行政情報（介護が必要な同居人の有無別） 上位6項目



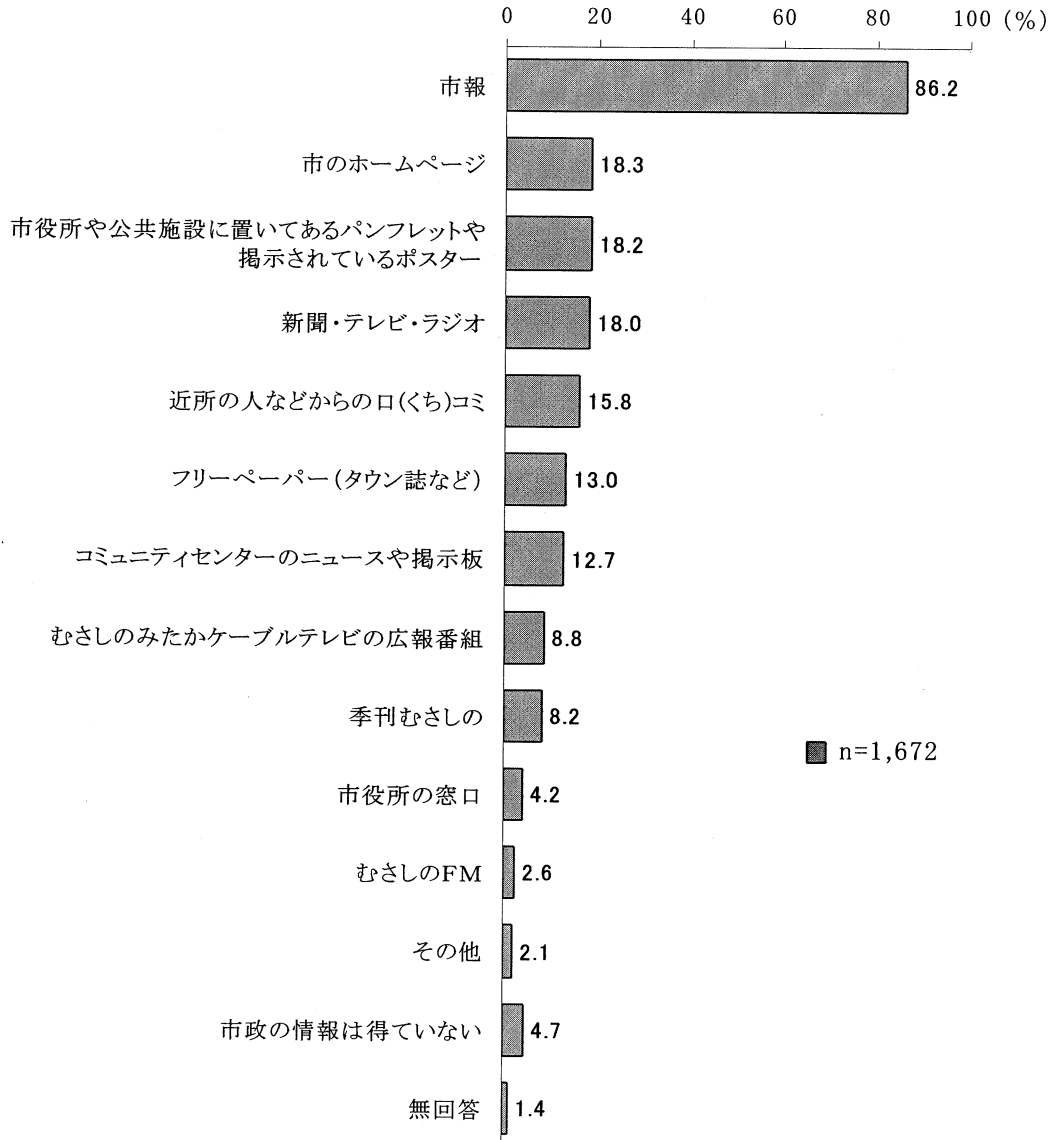
介護が必要な同居人の有無別に見てみると、「税金」を除き、いると回答した家庭の割合が、いないと回答した家庭の割合を上回っている。中でも「福祉」については、いると回答した家庭が、いないと回答した家庭を20ポイント以上上回っている。(図表2-16)

2-4 市政の情報の入手手段

◎ 「市報」が8割台半ばを超えて最も高い。

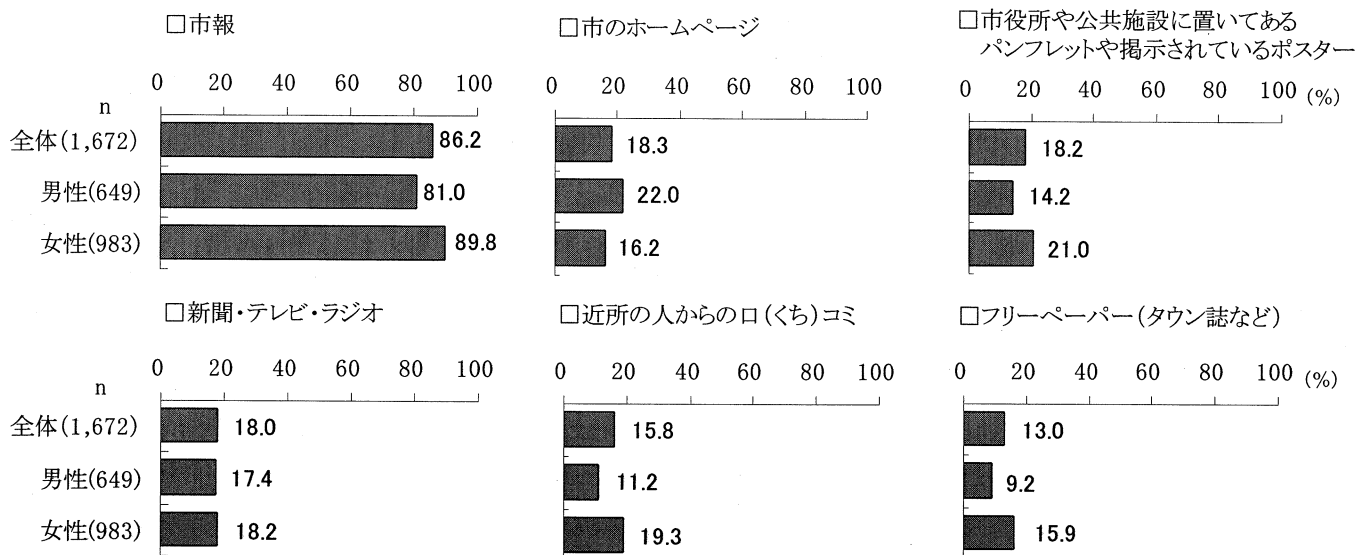
問11 あなたは、武蔵野市政の情報を何から得ていますか。(○はいくつでも)

図表2-17 市政の情報の入手手段(複数回答)



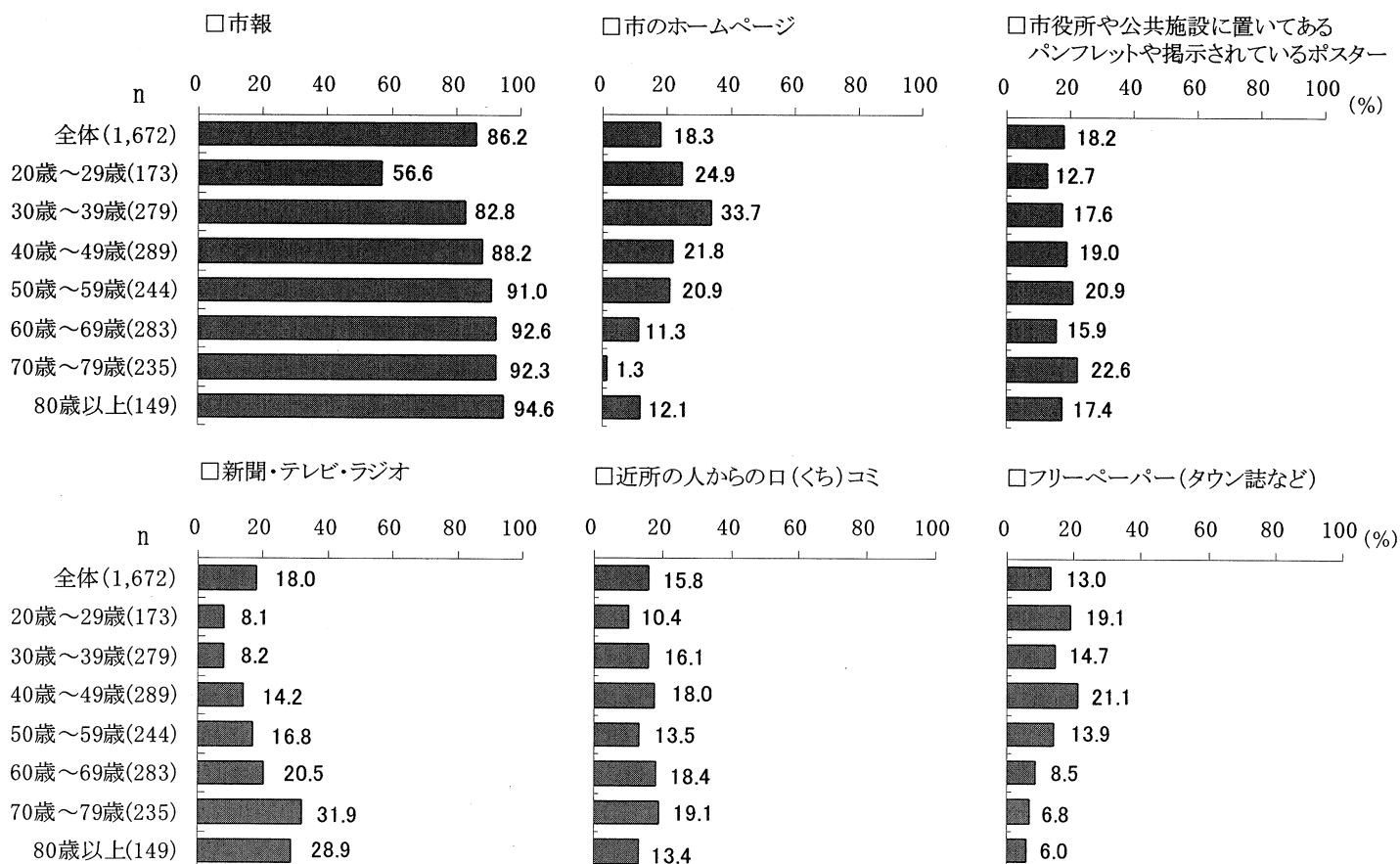
市政情報の入手手段としては、「市報」が8割台半ばを超えて最も高くなっている。その他の項目は市報に比べると割合が低く、「市のホームページ」、「市役所や公共施設に置いてあるパンフレットや掲示されているポスター」、「新聞・テレビ・ラジオ」が1割台後半で続いている。(図表2-17)

図表2-18 市政の情報の入手手段 (性別) 上位6項目



上位6項目について性別で見ると、「市のホームページ」を除き、女性の方が男性よりも多くなっている。特に「市報」では8.8ポイント、「市役所や公共施設に置いてあるパンフレットや掲示されているポスター」では7.8ポイントの差となっている。(図表2-18)

図表2-19 市政の情報の入手手段 (年代別) 上位6項目



年代別で見ると、「市報」は年齢が高くなるにつれ情報を得ている割合が増える傾向にあり、80歳以上の9割台半ば近くが市報から情報を得ている。「市のホームページ」からは、30歳~39歳の3割以上が情報を得ている。(図表2-19)

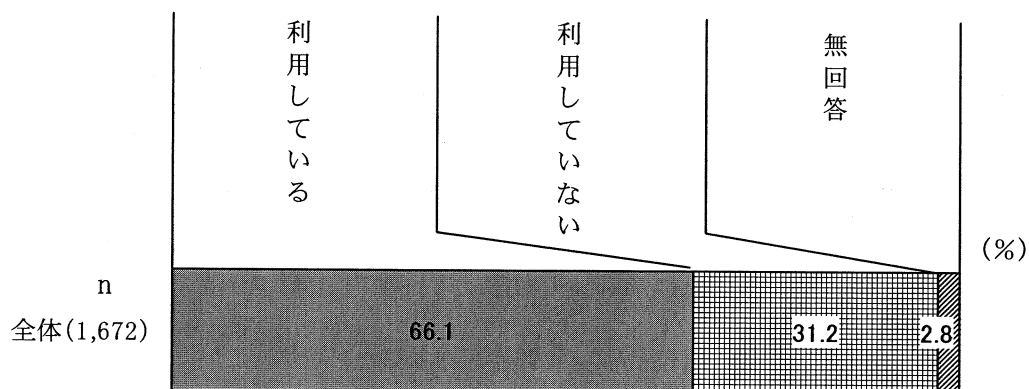
2-5 インターネットの利用状況

◎ 「利用している」が6割台半ば、「利用していない」が約3割。

問12 あなたは現在、家庭や職場、学校などでインターネットを利用していますか。

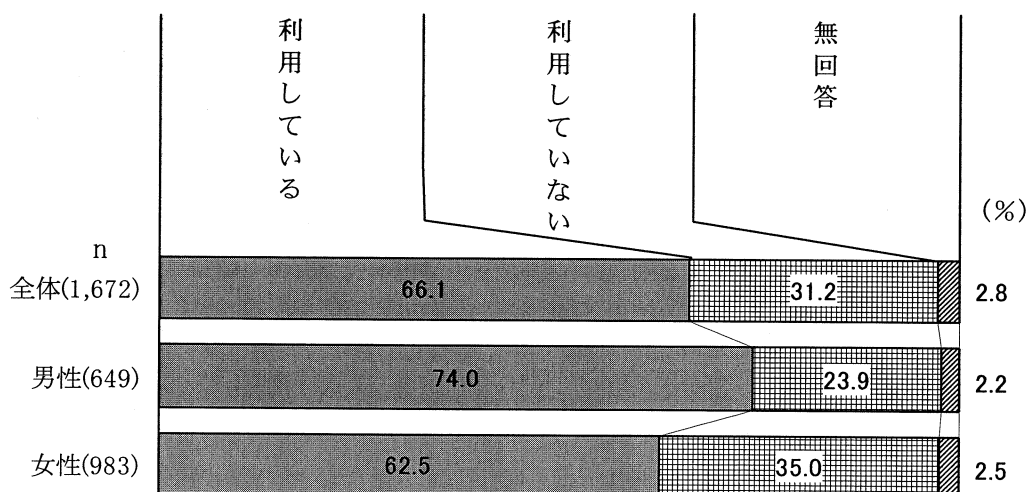
(○は1つ)

図表2-20 インターネットの利用状況



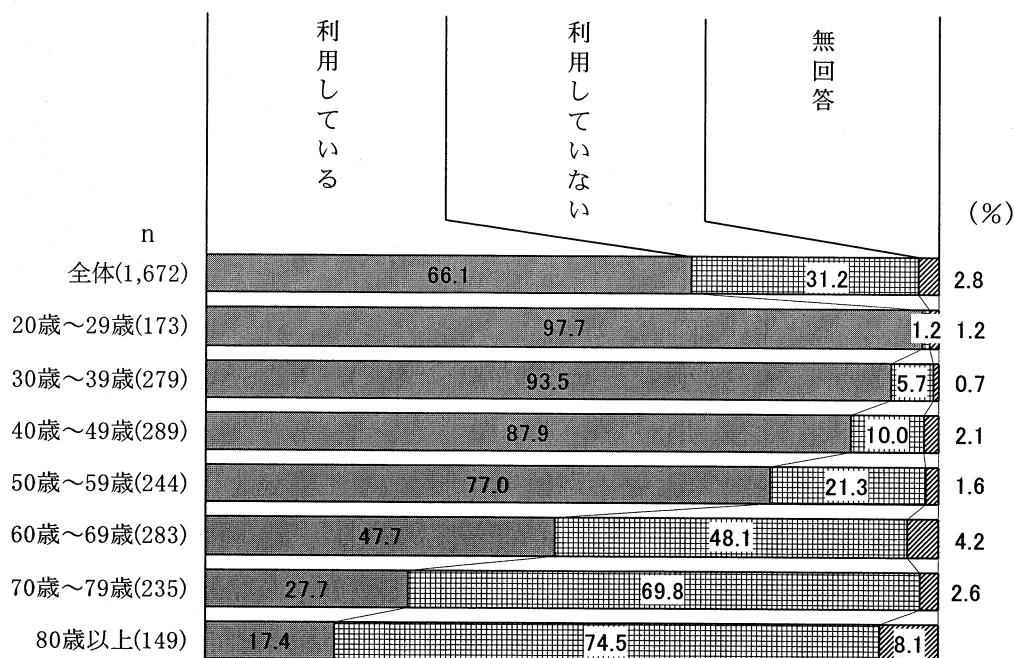
インターネットの利用状況としては、「利用している」が6割強である。一方、「利用していない」が3割台半ばを超えている。(図表2-20)

図表2-21 インターネットの利用状況 (性別)



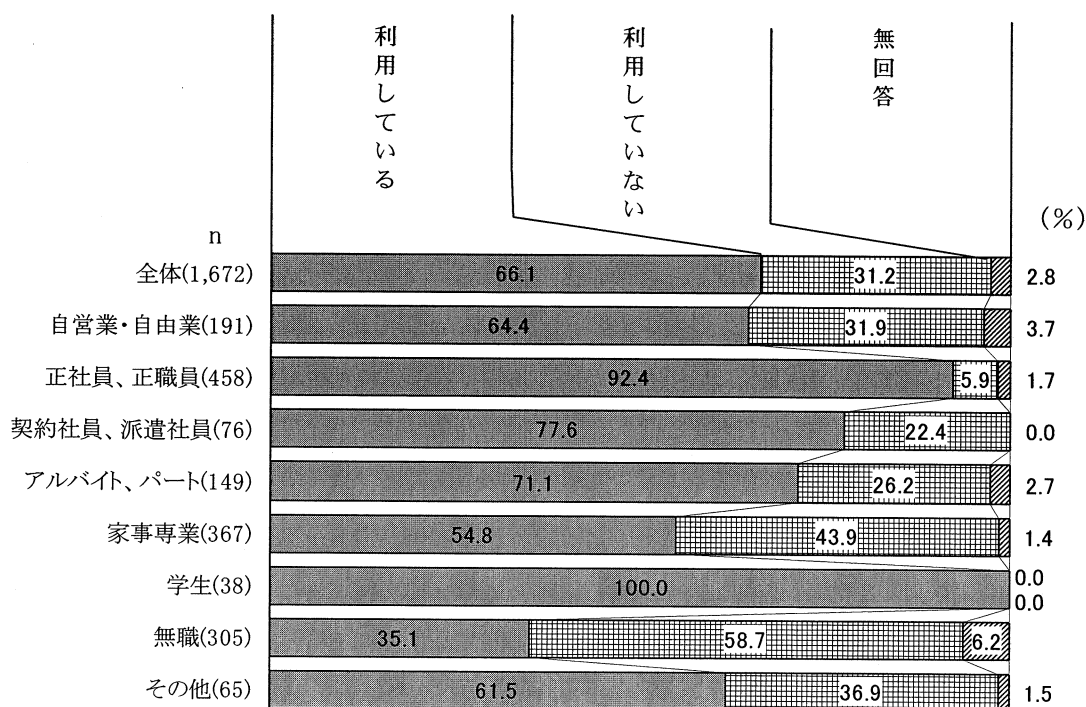
性別で見ると、「利用している」は男性の方が女性よりも11.5ポイント多く、7割台半ばとなっている。(図表2-21)

図表 2-22 インターネットの利用状況 (年代別)



年代別で見ると、年代が若くなるにつれて「利用している」割合が増える傾向にあり、20歳～29歳ではほぼ全員が利用しているとの結果となった。一方で年代が上がるほど「利用していない」割合は増加しており、60歳～69歳で5割弱、70歳～79歳で約7割、80歳以上で7割台半ばとなっている。(図表 2-22)

図表 2-23 インターネットの利用状況 (職業別)



職業別に見ると、「利用している」では、学生は全員利用していると回答しており、次いで正社員、正職員が9割超、契約社員、派遣社員で8割弱となっている。一方「利用していない」は無職で6割弱、家事専業で4割台半ばとなっている。(図表 2-23)